

NFB-001

ニューロフィードバックプログラムセット

様々な設定が可能なニューロフィードバックプログラム

ポリメイトを用いてリアルタイムにCD法で計測した脳波の帯域パラメータ結果をグラフ表示し、フィードバックができます。また、音によるフィードバックもできます。帯域パラメータは、任意の周波数帯域、帯域比、差分比の設定もできます。



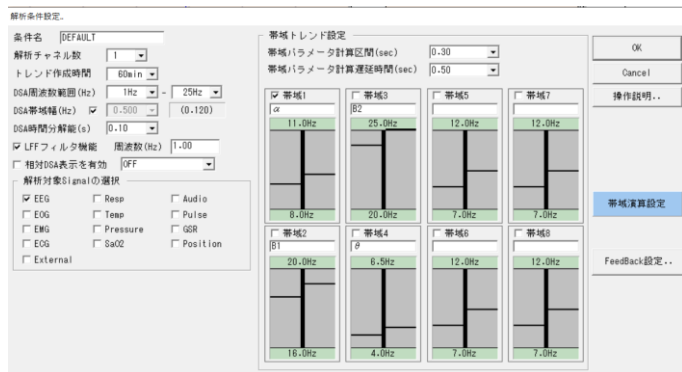
ポリメイトポケット

※ポリメイトは含まれていません。別途必要です。

- フィードバックパラメータの種類
 - 周波数帯域 (例: β 波13~30Hz など)
 - 周波数帯域の比 (例: θ/β など)
- フィードバックの方法
 - 棒グラフ表示
 - 円グラフ表示
 - 音によるフィードバック (設定レベルを超えた時)
 - トリガ出力 (設定レベルを超えた時 要オプション)
- フィードバック情報の出力
 - 帯域パラメータの解析結果を外部デバイス (PC) にシリアル出力 (要オプション)
- その他の機能
 - リアルタイム表示 (DSA表示、トレンドグラフ表示)
 - トレンドデータの保存

8種類の周波数帯域を設定可能

例 δ : 0.5Hz-3.9Hz θ : 4Hz-7.9Hz
 α : 8Hz-12.9Hz β : 13Hz-30Hz

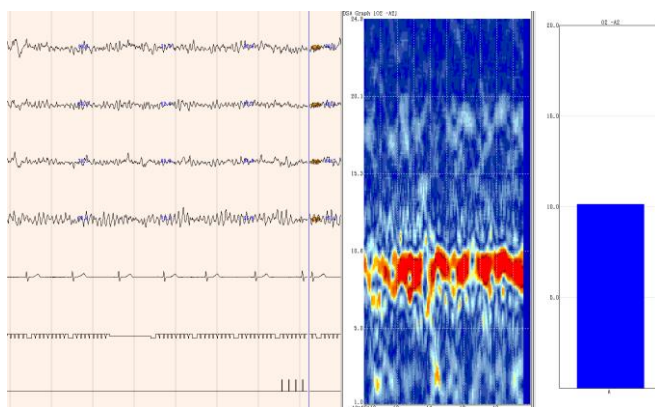


8種類の帯域比を設定可能

例 δ/α θ/β $\theta/(\beta1 - \beta2)$
 $(\alpha1 - \alpha2)/\delta$



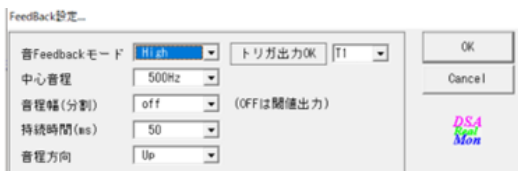
任意チャネルを選択しDSA表示や
 特定の周波数のパワー値を棒グラフや円グラフ表示に
 よるフィードバックが可能
 設定値を超えた時に音によるフィードバックも可能
 設定値を超えた時にトリガを出力するオプションあり



脳波波形

DSA

指定帯域
棒グラフ



構成

- CDM-DSAリアルタイム解析モニター
- FEEDBACK表示オプション

※このソフトを使用するにはポリメイト本体が必要です。

オプション

USBトリガボックス
 設定レベルを超えた時に
 トリガを出力するための
 ボックス



外部シリアル表示
 帯域パラメータの解析結果を
 外部デバイス (PC) に
 シリアル出力するためのユニット



本製品は研究用機器です。臨床用途では使用できません。
 ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。
 本カタログの掲載内容は2022年7月現在のものです。本内容は予告なく変更する場合があります。

製造元

販売元

株式会社 ミユキ技研

本社 〒113-0033 文京区本郷3丁目18番14 本郷ダイヤビル6階
 TEL:03-3818-8631 FAX:03-3818-8632
 西日本営業所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-4-63 新大阪千代田ビル別館3F
 TEL:06-6350-0775

<https://www.miyuki-net.co.jp/>